

快冬くんⅡ

(灯油ボイラー式融雪槽)

取扱説明書

2024年 04月



安全のため、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読み下さい。
お読みになった後も、いつでも必要な時に取り出せる場所に大切に保管して下さい。

この度は、ホクエイの灯油ボイラー式融雪槽をお買い上げいただき、誠に有り難うございます。
この取扱説明書は、安全のため、ご使用前には必ずお読み下さい。
また、いつでも必要なときに取り出せるように大切に保管して下さい。

目 次

項目	頁
安全使用のための重要注意事項	1～2
融雪槽外観・装置構成	3
制御盤内の配置	4
融雪槽の操作方法	5
シーズン前後・保証書	6

安全使用のための重要注意事項

- ご使用前に「安全使用のための重要注意事項」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
- メンテナンスや修理を希望される場合は、株式会社ホクエイまでご連絡下さい。
- この取扱説明書の内容に従わなかったり、誤使用や装置の改造が行われことにより発生した損害、事故につきましては、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。

安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守って下さい。

表示の意味は下記の通りとなっています。



危険

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されるもの



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの、および物的傷害の発生が想定されるもの



絶対にしてはいけない、「禁止」内容です。



必ず実行していただきたい、「強制」内容です。



特に気をつけていただきたい、「注意」内容です。

安全使用のための重要注意事項



危険



危険 灯油以外の燃料使用の禁止

ガソリンなど灯油以外の燃料を使用すると、爆発の恐れがあります。



危険 改造使用の禁止

改造して使用しないで下さい。安全装置の無効化など機器の安全性を損なう改造は、火災など思わぬ事故の原因になります。



警告



警告 転落すると重大事故の恐れがあります。

- 1) 落下防止ネットは、絶対に開けたり取り外さないで下さい。また、落下防止ネットの上には乗らないで下さい。転落すると重大事故に繋がります。
落下防止ネットのすき間から入らない雪は、スコップ等で砕いてから入れて下さい。
- 2) 投雪時以外は、必ず蓋を閉めて下さい。除雪作業中に融雪槽が目視できない場所から雪を運ぶ時は、その都度、蓋を閉めて下さい。蓋を開け放しておくと思わぬ事故が発生する恐れがあります。周囲の安全にご留意ください。
- 3) 蓋を開けている間は、周囲に子供やペット、車両を絶対に近づけないで下さい。
- 4) 融雪槽内に、雪以外のものが落下しないように注意して下さい。



警告 制御盤の扉を開けないで下さい。

ブレーカーの操作や点検の時以外は、制御盤の扉を開けないで下さい。感電する恐れがあります。点検で制御盤を開けるときは、必ずブレーカーをOFFにして下さい。



警告 高温部接触禁止

ボイラーの燃焼中や消火直後は、排気口等の高温部に手などで触れないで下さい。やけどの恐れがあります。



注意



注意 蓋で手足などを挟まないように注意して下さい。

蓋の開閉には必ず専用の取っ手を使用し、最後まで慎重に開閉して下さい。蓋を手足などで押して落下させるように閉めることは絶対におやめ下さい。本製品は融雪装置です。融雪目的以外でのご使用は絶対におやめ下さい。



注意 車両総重量1.5t以上の重車両の乗り上げ禁止。

この融雪槽は、普通乗用車(総重量1.5t未満)の荷重に対応できますが、重車両(総重量1.5t以上)が乗り上げると破損し、重大事故に繋がります。また、総重量1.5t未満の車両でも、融雪槽付近では必ず最徐行して下さい。

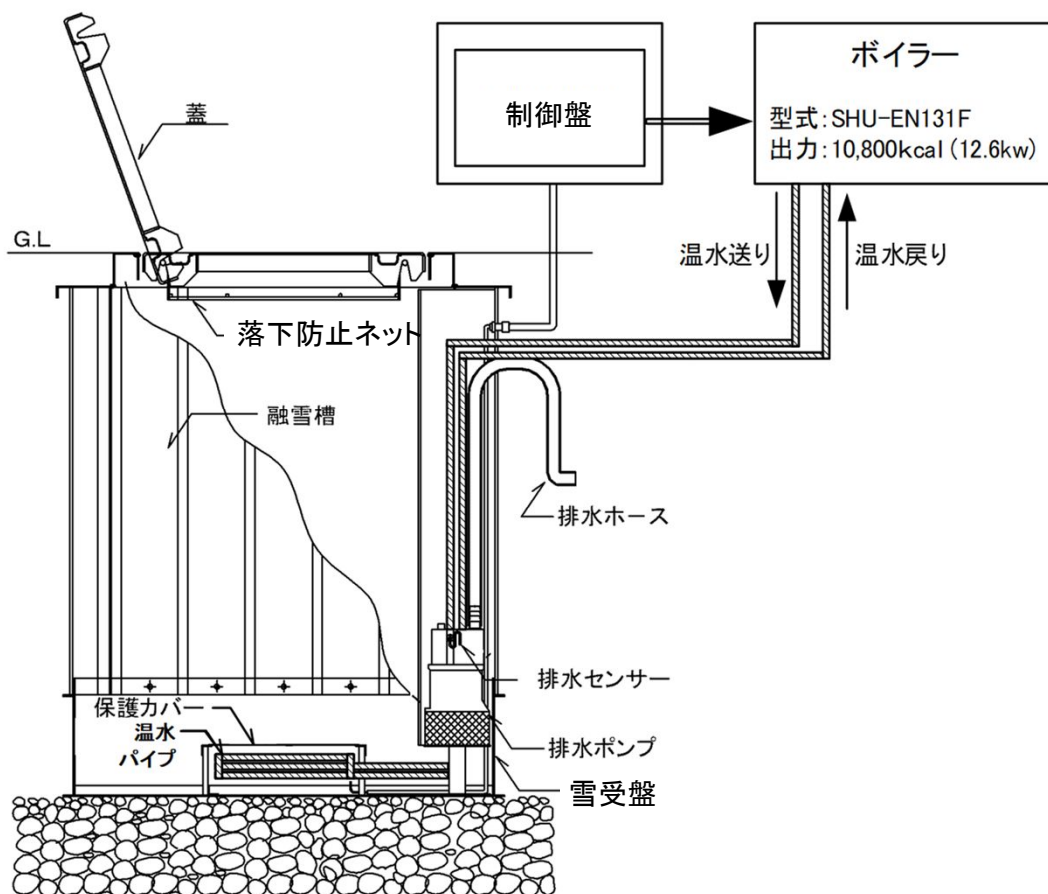
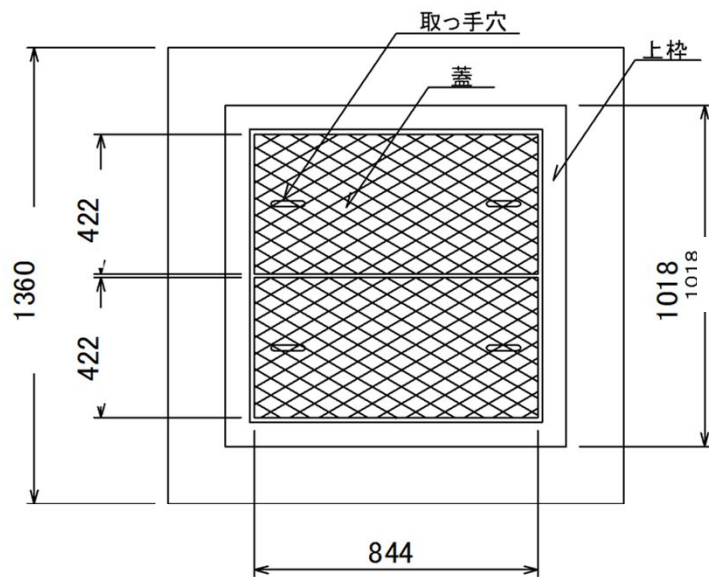


注意 危険ですから融雪槽の中に入らないで下さい。

融雪槽内に誤って私物を落とした際は、必ず当社に回収作業を依頼して下さい。融雪槽内にドロ、ゴミ、異物が溜まった場合は、必ず当社にメンテナンスを依頼して下さい。

融雪槽外観 ・ 装置構成

■ 外観 ・ 各部名称 ■



制御盤内の配置

■ 外観・各部名称 ■

①融雪槽排水ポンプブレーカー

融雪槽内の余分な水を排水するポンプ用の漏電ブレーカーです。排水ポンプは、電源ONの状態を設定以上の水位になると自動的に動作します。漏電ブレーカーが落ちる場合は、点検が必要です。

②制御盤主電源ブレーカー

制御盤内のメイン電源ブレーカーです。融雪槽を運転するときは、「主電源ブレーカー」のレバーを上に戻してください。使用しないとき、シーズン終了後は、レバーを下げてOFFにしてください。

③電源ヒューズ (3A)

ボイラーが電源ONの状態、雪を投入して運転スイッチを上げてONにしてもボイラーの運転が始まらない場合、点検が必要です。

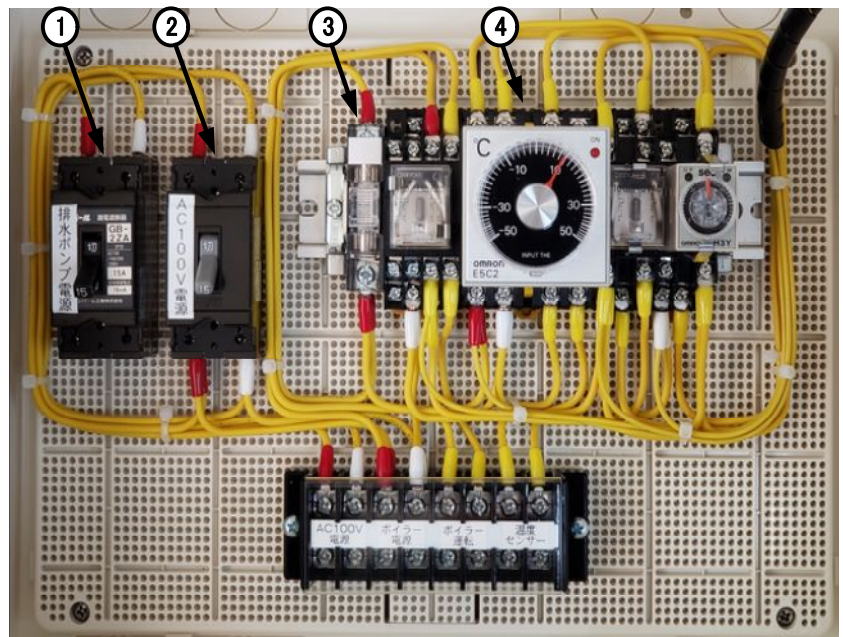
④融雪槽温度設定器

融雪槽内の雪が融け終わって槽内の水温が上昇し、運転を停止する温度を設定します。
【出荷時設定: 16°C】

⑤ボイラー用リモコン

ボイラー本体のリモコン窓内に設置しているボイラー操作用のリモコンです。通常は、運転「入」(ON)にします。「運転」スイッチ左の緑ランプ点灯

ボイラー側で異常が発生している場合は、異常内容を示す3桁のNoが表示されます。



融雪槽の操作方法

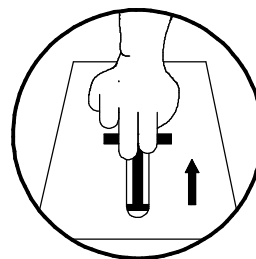
1. 雪の投入

制御盤内の主電源ブレーカーのレバーを上へ上げて下さい。(電源ON)

制御盤内の排水ポンプブレーカーのレバーを上へ上げて下さい。(電源ON)

蓋を開けて、融雪槽底部の受雪盤に水が溜まっていることを確認し、融雪槽内に雪を投入して下さい。

蓋は、専用の取っ手を長穴に差し込み90度回して、確実に開閉して下さい。



2. 融雪開始

雪を投入し終わりましたら、制御盤面にある運転スイッチを上へ上げて「ON」にして下さい。

融雪ランプが点灯し、ボイラーが運転して融雪を開始します。

注意

雪を投入するときは、「ドロ」、「ゴミ」、「異物」等を入れないようご注意ください。重い物が落ちた場合、温水パイプ、保護カバーが破損することがあります。

受雪盤に溜まっている水の水位が低いと、投入した雪が十分に融けないままボイラーが停止します。
融雪槽の使用開始前(11月頃)に、受雪盤が水で満たされている状態であることを確認して下さい。
水位が下がっている時は、水を補充して下さい。

危険ですから、投雪口の落下防止ネットは



3. 融雪完了

融雪槽内の雪が融け終わり、受雪盤内の水温が上昇して16℃以上になると、

ボイラーの運転が自動的に停止して、融雪ランプが消灯します。

融雪ランプが消灯しましたら、運転スイッチを下げて「OFF」にして下さい。

連続して使用しない場合は、主電源ブレーカーのレバーも下げて下さい。(電源OFF)

注意

運転スイッチが「ON」で融雪ランプが「消灯」している状態で、雪を融雪槽内に投入しても融雪槽は運転しません。
一度、運転スイッチを下げて「OFF」にしてから、再度運転スイッチを上げて「ON」にして、融雪槽を使用して下さい。

4. 排水ポンプについて

通常は、融雪槽に雪を投入する前に融雪槽内を確認し、制御盤内の主電源ブレーカーと

排水ポンプブレーカーのレバーを上げて(共にON)排水ポンプを稼動して下さい。

融雪完了後に、排水ポンプ用ブレーカーのレバーを下げて下さい。(OFF)

注意

設定以上の水位で動作する自動式排水ポンプなので、シーズン初めに排水ポンプブレーカーのレバーを上げて自動運転状態にして、シーズン終了後に排水ポンプブレーカーのレバーを下げる方法でも使用は可能です。
ただし、地下から水が湧く地域等では、融雪槽を使用していない間も排水ポンプが自動的に動作して余計な電気代が掛かる場合がありますので、お奨めしておりません。

シーズン前後・保証書

1. 融雪槽使用シーズン前後について

シーズン開始前に融雪槽内を確認し、底部の受雪盤内に水が不足している場合は、水を補充して下さい。
シーズン終了後は、制御盤内の ②主電源ブレーカーのレバーを下げて、制御盤の電源を切して下さい。

※この保証書は大切に保管して下さい。

保証書



エアウォーターグループ
株式会社 **ホクエイ**

0120-622-115

※ 取付完了日 年 月 日

北海道本社 札幌市北区北40条西4丁目1-1 ASABU LAND1階 TEL 011-792-5804
旭川営業所 旭川市旭町2条19丁目135-66 TEL 0166-46-7676
青森営業所 青森市大字宮田字玉水117-3 TEL 017-737-3511

※ お客様住所

※ ご芳名

※ 電話番号

販売店住所

販売店名

電話番号
